



第2清掃工場



ごみ処理とともに、し尿処理施設はなくてはならない施設です。

第2清掃工場は、市内全域の家庭から出されるし尿をきれいにし、駿河湾に放流しているし尿処理専門工場です。

昭和55年度に増改築工事を行い、外観はいままでなし尿処理工場のイメージを一新しました。

処理能力は日量190キロほどで、公共下水道が普及しつつある現在、能力

は万全です。

新しいシステムとして、し尿を処理するときの汚泥を、たい肥化する施設があり、1日4トンぐらいのたい肥ができています。

このたい肥は、有機物、チツソ、リンサンが含まれていますので土壌改良、植物の成長促進などに有効なため田子浦農協、富士市農協などを通して、農家の人たちが利用しています。

市内の各家庭から収集される可燃性ごみ（燃せるごみ）に含まれている水分は、最大値で33%、最低値で17%、全市の総平均値は26%となっています。（ごみの分析調査結果による）

これから夏に向い、すいかなど水分を多く含む野菜、果実が出回りますが、ごみの減量と省エネ（水分が多いと燃料をたくさん使います。）に役立つよう、しっかり水切りをしてから出してください。

——進めよう ごみの減量・資源化——



ぼくの夢 わたしの夢

楽しい学校と
戦争のない世界



吉原小六年
山本晴彦君

まず、楽しくてたまらない吉小にすること。それには理科の実験や、休み時間がたっぷりある日や、みんなと心ゆくまで話し合えるゆとりの時があったら、きっといいだろう。

そして、ぼく達が大人になったら、世界中から戦争をなくして、平和な世の中にしたい。戦争に使うお金を病気を治したり、困っている人達のために使えるようになったらいいな。

私のふるさと



吉原小六年
塚原美生さん



私は、富士市で生まれ育ったので、他の町は知りません。でも、富士山がとてもきれいに見える日や、夜、東名の富士川橋の所から見える富士市のあかりを見ると、この町に住んでよかったと思います。私は、将来どこに住むかわかりませんが、私のふるさとは、富士市だと、大きな声で言えるように、発展してほしいし、私もそのためにがんばりたいと思う。